

人にやさしく  
地球にやさしい

# 大日新聞

**大日化成株式会社**  
〒571-0030 大阪府門真市末広町 8-13  
TEL : 06-6909-6755 FAX : 06-6909-6702  
URL : http://www.dainichikasei.co.jp

**通気緩衝工法** 水分を逃がし防水層の  
割れ・ふくれを防ぎます  
BIG SUN  
**RX 工法**

新製品

## 霧ヶ峰 コケ緑化・コケマット工法

大日化成株式会社では10月より、コケ緑化システム「霧ヶ峰コケマット工法」を発売いたします。コケマット工法はこれまでの薄層軽量緑化のおよそ半分の約20kg/m<sup>2</sup>と軽量かつ微で、土壌を使わないことから、ドレンの詰まりや土壌の飛散による汚れが少なく、壁面緑化にも、急傾斜の場所にも施工できる利点があります。

大日化成では、環境変化に強いスナゴケを綿密に生育したコケマットを使用し、湿潤重量20kg/m<sup>2</sup>の超軽量を生かした「霧ヶ峰コケマット工法」を開発し、高品質コケマットと緑化技術融合したコケ緑化システムで屋上緑化・壁面緑化をご提供いたします。

ファイバーを利用し軽量一体化基盤に仕上げられています。

【3】メンテナンス・セダム緑化で培ったメンテナンス技術  
コケ緑化は外部からの強風・豪雨・日射し・受ける環境変化の最も大きい建築物の屋上・壁面などに施工されます。この環境は植物の生長に適さない環境が多く、放置すれば環境に適した状態まで植物生育が衰退することがあります。大日化成株式会社ではセダム緑化で培ったメンテナンス技術を使い、コケ緑化でも同様に、ダメージ快復・補修工事などのメンテナンスが出来る体制を用意しております。

コケ緑化の広がりや国土交通省の統計で見ると、緑化場所の多用途化が進んだことに比例して、平成23年度は5年前に比べ施工面積が2.7倍に著実に増えてきています。現在主流の薄層軽量緑化の歴史を振り返ると、90年代に防水メーカーや建築関連企業を中心となりドイツのセダム緑化技術を中心に開発したシステムから始まり、緑化メーカーの技術進歩により完成された緑化工法になりました。

【1】全面にコケが密植したコケマット使用し施工  
苔の生長は年2〜3cmと非常に遅く、製品として完成するまで1年以上の歳月をかけるり上げます。コケの緑化は、施工後は維持管理で緑化を継続するのが最も良い方法と言えます。そのためにも、時間をかけた信頼の品質品を使って緑化をいたします。

【2】コケが脱落しにくいメッシュファイバー一体化基盤  
土壌を使わないコケ基盤材コケの根は、水分や養分を吸収せず体が離れないだけの根のため、根張りが少なく、少しの力で外れやすい反面、厚さや土壌を必要とせず、コケの生育に適した自然環境に近い、突風や豪雨でコケが脱落しないメッシュ

一方コケ緑化は、苔や溪流の岩場盆栽のイメージからも造園業を中心日本人の感性に訴える庭園型緑化から発展しました。近年コケの特徴である「乾燥時に休眠、水があると即座に活性化する持久力と瞬発力」が特殊環境緑化である高温環境、強風、雨水の当たりにくい壁面に施工できる緑化として注目されています。

して載っている設計事務所の社長のご自宅です。採用理由は、立地場所が世田谷の閑静な住宅街ということもあり、特に溶剤などの臭いについては神経質なほどに気を使っておられ、ビッグサンは水系の為、溶剤臭も無く、火も使わず安全ということだそうです。こちらの本音を言うと、今回の様な使い方はお勧めしないのですが・・・。

木パネルによつてはコーティングされているモノもあり、そのコーティング剤が防水材と相性が悪い(接着を阻害する)ものもあるので、初めの打合せの段階で要検討しました。

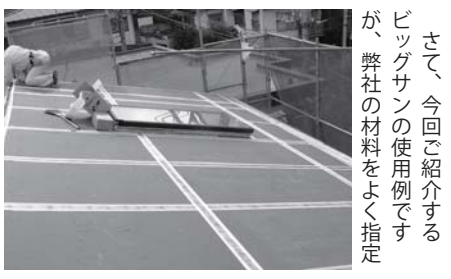
次に、パネルのジョイント部の動きに追従する為、プチルゴムとクロスが一体化した「ビッグサン目地テープ」を貼り、またその上に少し大きめのクロス(ビッグサンクロスV)を補強の為に貼っております。従ってジョイント部は2重〜3重の補強をしております。また、明かり取り窓や開口部廻りなど細かな納まりが必要な箇所は、ウレタン系のシール材を併用し防水効果を上げてました。仕上げは遮熱トップを全面に塗布しました。

ビッグサンを発売して35年が経過し、樹脂と粉体を混合塗布するといった基本的な部分は変わっていませんが、お客様からのご要望を材料に反映すべく、少しずつ改良を重ねており、より使いやすく品質や性能も上げて参りました。

さて、今回ご紹介するビッグサンの使用例ですが、弊社の材料をよく指定

採用理由にもなっている環境に優しい、臭いが無いこと以外にも、木パネルが含んでいる水分に対して、水たまりを無くせる程度地下水分ならば施工に全く問題がなく、また塗膜自体に湿気透過性があるため極端な膨れの発生が少なく、また、乾燥時間も短いなどのメリットがあります。

### ちょっと変わったビッグサンの使われ方



防水の仕様は、基本的にはビッグサンRB16工法ですが、戸建て住宅(木造)をまるごと包み込むという特別工法で対応しました。防水を施工した箇所は屋根や外壁だけでなく、内壁にも使用しております。ビッグサンRB16工法の防水層に使用する樹脂(SC1100)は、木工用ボンドの原料でもあるエチレン酢ビ樹脂を使っているの

で、木との接着は良いのですが、



熱血営業マン! ダイニチくんの奮戦記

「おしやれな家」

「コケマット」の新しい緑化工法だよ

「すごいね!」  
「屋上も壁もコケで緑化なんて!」

「日本のコケで世界を緑化する」

「大日のコケマット工法をよろしく!」

こんなところで活躍しています

オフィスビル屋上 (VUS500)

